株式会社デジタルガレージ

2011年6月期 決算説明会

2011.8.12

Digital Garage
Social Media Incubator

目　次

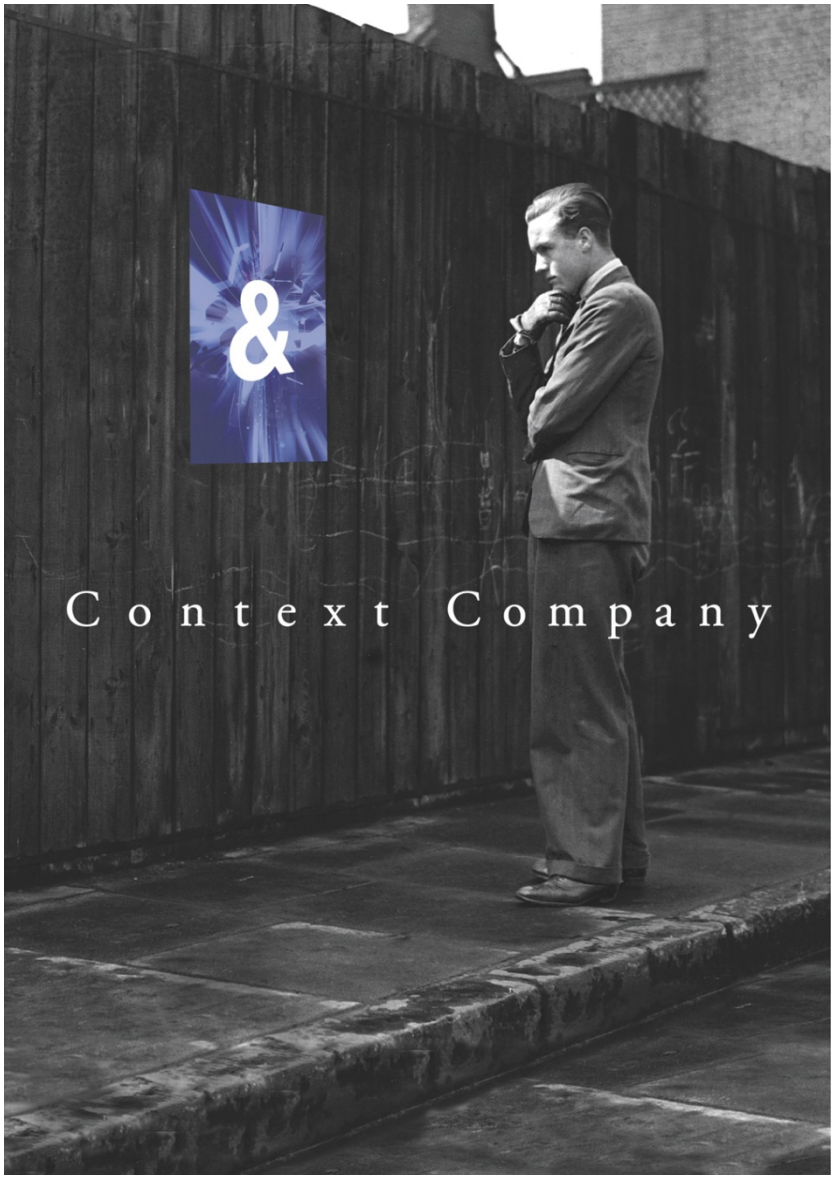
- ミッション＆ビジネスモデル ・・・・・・・ 2
- グループ業績レビュー ・・・・・・・ 5
- 2011年6月期 セグメント別レビュー ・・・・・・・ 15

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ミッション ＆ ビジネスモデル

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DGのMission



Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future

を結ぶ

Context Company

として
インターネット時代における
新しい日本の
生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

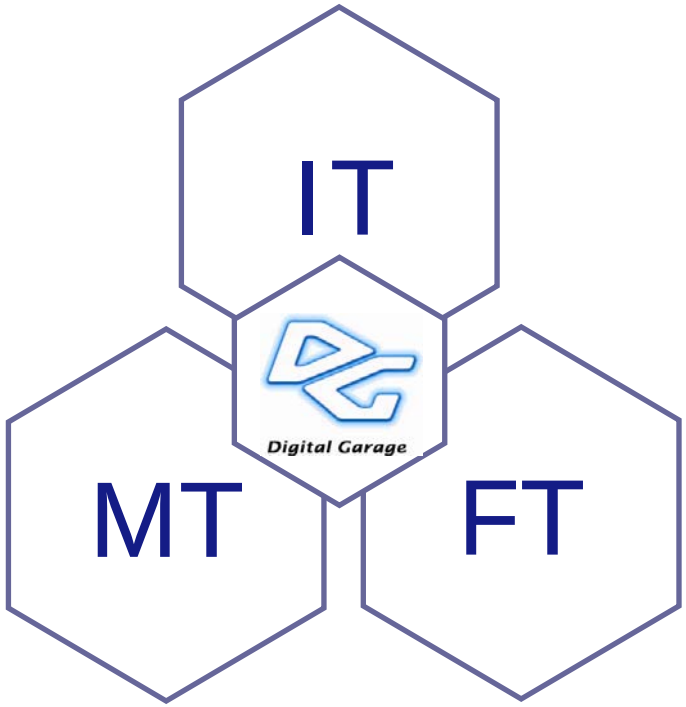
Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DGのビジネスモデル

context company

日本のインターネットビジネスを

IT / MT / FT の3つのコア機能を駆使し、プロデュース / インキュベート



★ **Information Technology**

★ **Marketing Technology**

★ **Financial Technology**

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グループ業績レビュー

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

中期計画初年度業績の達成と新メディア・インキュベーション戦略の始動
～ 公募増資の実施とグローバル・インベストメント / 開発ネットワークの構築～

Ⅰ 前期比10億円の営業増益と黒字化の実現

- Enabling Platformであるハイブリッド・ソリューション事業の好調
- ベンチャー・インキュベーション事業の復調
- Social Media、スマートフォン関連事業への開発投資を積極化

Ⅱ 日米リアルタイムでの情報収集及び開発ネットワークを構築

- 米国子会社Digital Garage US, Inc.の設立（拠点：米サンフランシスコ）
- MIT Media Lab（米ボストン）とのコラボレーション
- 海外投資事業の積極化とアジャイル開発手法導入による自社メディア展開

Ⅲ 公募増資の実施による長期成長ポテンシャル

- 国内公募増資による80億円の資金調達
- ベンチャー投資と新たなSocial Mediaの開発
- 新決済システムへの運転資金

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

公募増資の概要

context company

2011年7月、公募増資及び第三者割当増資により約80億円を調達

資金調達の目的

-新中期経営計画の成長戦略-

“Social Media関連事業の育成”

- グローバル化
- メディア開発力の強化
- ソリューション力の強化

- (株)カカクコムや米国Twitter社に続く、新しいサービスを提供する企業の発掘
- ソーシャルメディアを活用した新たなサービスシステムの開発投資

資金使途		金額
投資資金	国内外のインターネット関連企業及びエンジェルファンドへの出資	5,300百万円
開発資金	ソーシャルメディアを活用した新たなサービスシステムの開発資金	938百万円
運転資金	価格.com安心支払いをはじめとした決済事業拡大に伴う運転資金	1,500百万円
借入金返済		残額
合計		8,064百万円

新株発行に伴う希薄化率：14.6％

（増資による株式増加数　32,000株 / 増資後の発行済株式総数　218,224株※）

※増資後のストックオプション行使を含め、本日現在の発行済株式総数：219,084株

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2011年6月期　業績サマリー　P/L(連結)

context company

(単位:百万円)	2010.6期	2011.6期				
	実績	期初計画	5/27修正	8/2修正	実績	前期比(金額)
売上高	8,346	10,600	10,900	11,065	11,067	+2,720
営業利益	△960	△250	50	135	135	+1,095
経常利益	△457	500	900	970	972	+1,429
当期純利益	△2,207	310	800	900	901	+3,108

＜2011.6期 連結業績＞

～ 事業再編後、初の営業黒字を達成 ～

■ハイブリッド・ソリューションが牽引して、売上高は前期比32.6％の増収、営業利益は同1,095百万円の増益。ベンチャー・インキュベーションもキャピタルゲインを実現。

■経常利益はカカクコム増益(持分法による投資利益)も反映し、同1,429百万円の増益。

■当期純利益は前期実績△2,207百万円から901百万円へ3,108百万円の増益。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2011年6月期　財務サマリー　B/S(連結)

context company

（単位：百万円）

	2010.6期（実績）	2011.6期（実績）	前期比（金額）
流動資産	14,208	14,345	+136
うち現預金	4,799	4,784	△15
うち未収入金	3,413	4,351	+937
金銭の信託	3,155	2,501	△654
固定資産	5,497	6,075	+578
資産合計	19,706	20,421	+714
流動負債	9,941	9,933	△7
うち預り金	5,743	6,168	425
うち有利子負債	2,809	2,519	△290
固定負債	935	592	△343
うち有利子負債	670	351	△319
純資産	8,829	9,895	+1,065
うち利益剰余金	1,497	2,398	+901
負債・純資産合計	19,706	20,421	+714

※決済事業に関連する勘定科目

「未収入金」
コンビニ、カード会社等から未入金の収納代金
（平均入金サイト約2週間）

「金銭の信託」
収納代金の信託保全を実施

「預り金」
EC事業者に支払をするまで一時的に預かる収納代金

増資後の純資産
17,959

■ 増資のインパクト：ネットキャッシュの増加

10.6期	11.6期	増資後想定
1,320百万円	1,914百万円	9,978百万円

ネットキャッシュ＝現預金－有利子負債

■ バランスシートの改善

	10.6期	11.6期	増資後想定
自己資本比率	44％	48％	63％
有利子負債依存度	17％	14％	10％

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2011年6月期　セグメント別業績サマリー

context company

（単位：百万円）

	2010.6期（実績）	2011.6期（実績）	前期比（金額）
ハイブリッド・ソリューション　セグメント			
売上高	7,527	9,252	+1,725
営業利益	150	634	+483
メディア・インキュベーション　セグメント			
売上高	812	634	△177
営業利益	△107	△218	△111
ベンチャー・インキュベーション　セグメント			
売上高	7	1,180	+1,173
営業利益	△143	688	+831

※セグメント営業利益は、消去又は全社費用控除前ベース

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

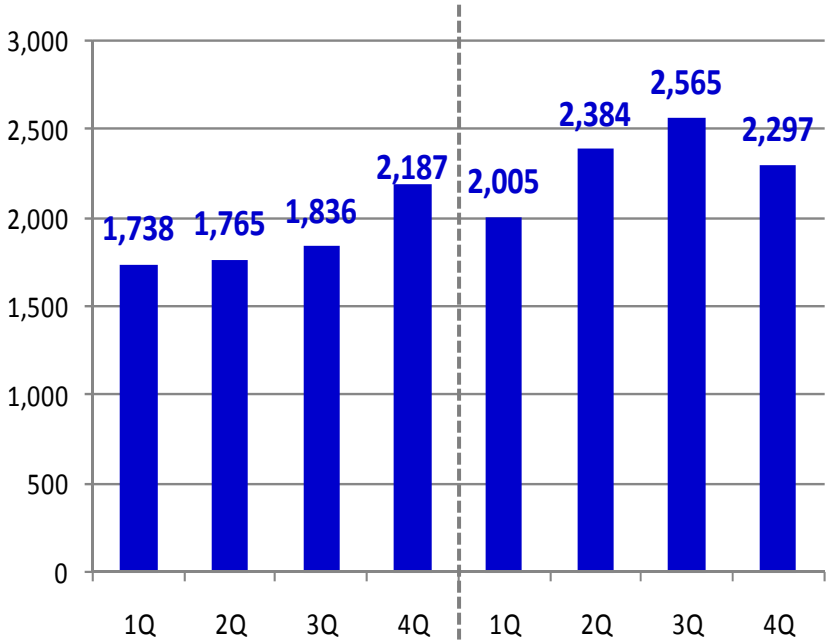
連結セグメント売上高と営業利益の四半期別推移

context company

◆ ハイブリッド・ソリューションセグメント

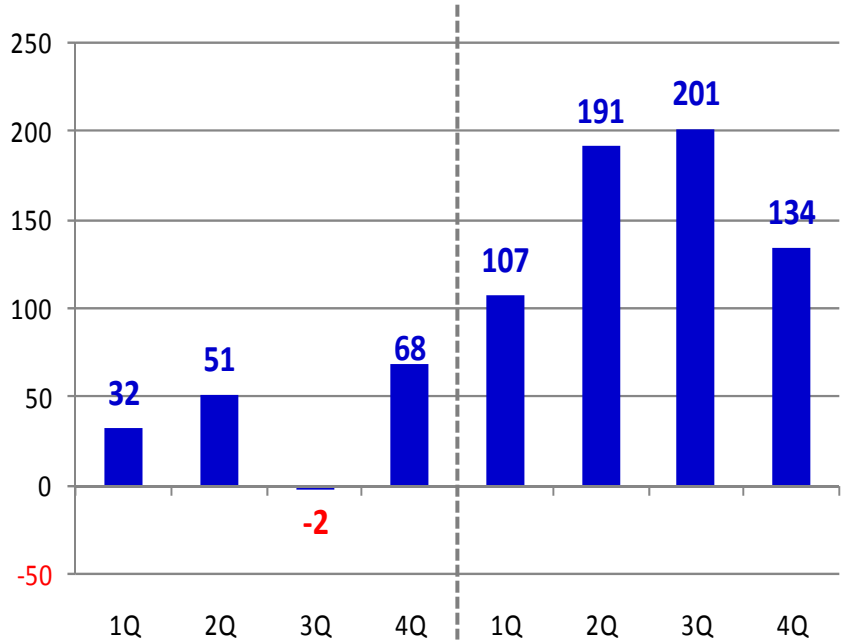
（百万円）

【売上高】



＜2010年6月期＞　＜2011年6月期＞

【営業利益】



＜2010年6月期＞　＜2011年6月期＞

■業績レビュー

- WEBとリアルを融合した企業向け総合プロモーション事業が好調に推移。
- 決済ソリューションも、ゲーム、旅行関連牽引で過去最高の決済件数を更新。
- 価格.com 安心支払い は導入ショップ数が順調に拡大、来期より本格的に収益貢献開始。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

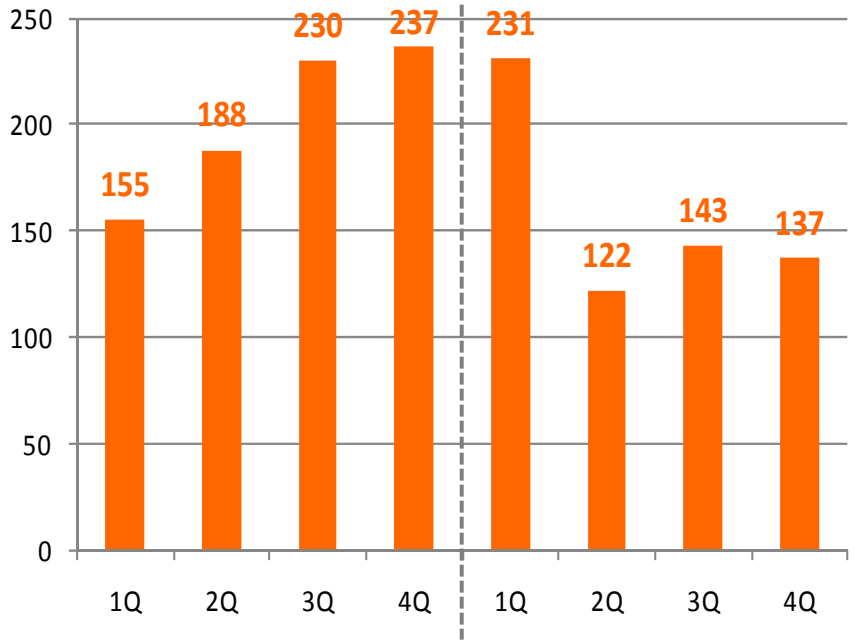
連結セグメント売上高と営業利益の四半期別推移

context company

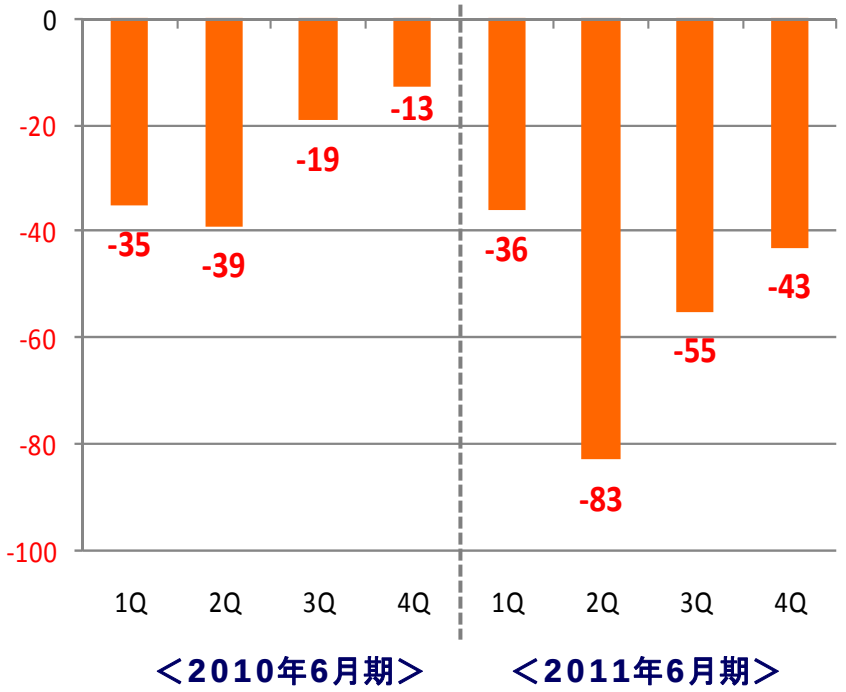
◆ メディア・インキュベーションセグメント

（百万円）

【売上高】



【営業利益】



■業績レビュー

- Twitter広告販売は、9月の新UI切り替えに伴う販売在庫調整から成長トレンド復帰。
  震災直後の広告出稿自粛の影響も、期末には過去最高売上を更新。
- モバイル事業再編（12月ウィール設立、3月DGモバイル売却）とスマートフォン関連事業に注力。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

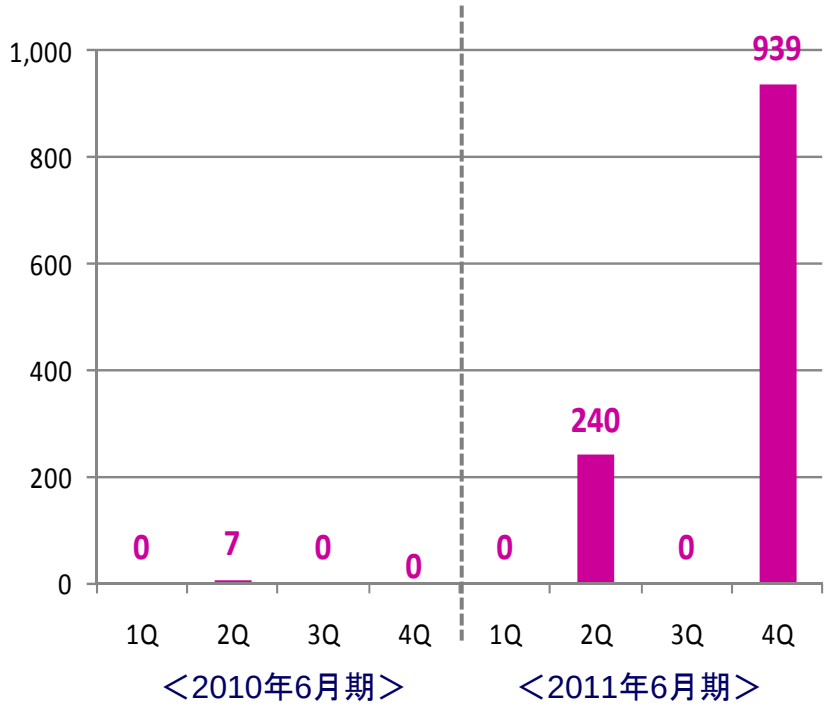
連結セグメント売上高と営業利益の四半期別推移

context company

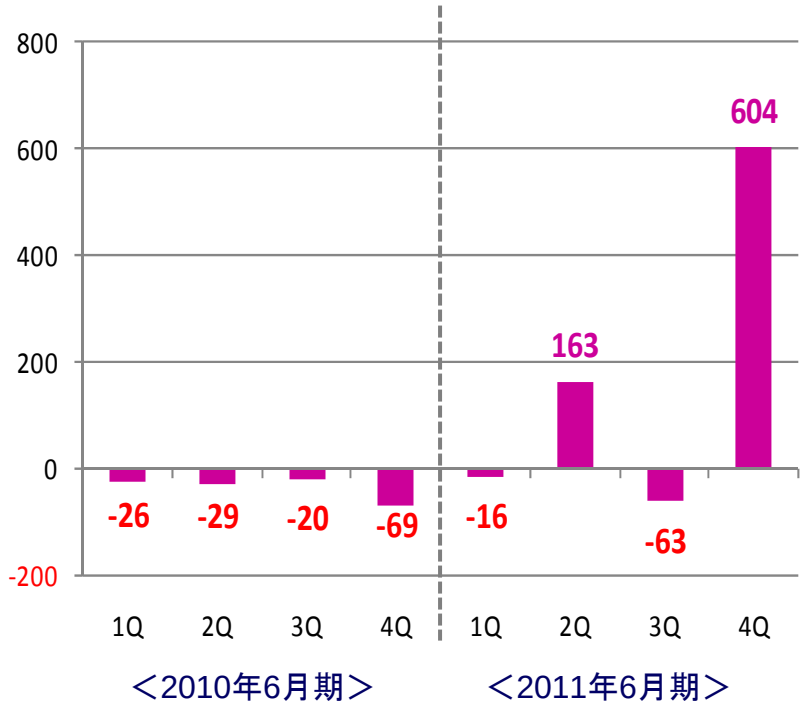
◆ ベンチャー・インキュベーションセグメント

（百万円）

【売上高】



【営業利益】



■業績レビュー

- 米国SNS関連企業を中心に株価バリュエーションが急騰。売却タイミングを計りExitを進める。
- 日本初のSeed Acceleratorプログラム「オープンネットワークラボ」卒業企業への出資開始。
- 著名投資家とのネットワークを拡充、円高局面もあり有望な海外ベンチャー企業への投資拡大。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2012年6月期　業績見通し

context company

（単位：百万円）

	11.6期（実績）	12.6期（計画）	前期比（金額）
売 上 高	11,067	13,800	+2,732
営業利益	135	1,350	+1,214
経常利益	972	2,500	+1,527
当期純利益	901	2,100	+1,198
《セグメント売上高》			
■ハイブリッド・ソリューション	9,252	9,600	+347
■メディア・インキュベーション	634	2,000	+1,365
■ベンチャー・インキュベーション	1,180	2,200	+1,019
《セグメント営業利益》			
■ハイブリッド・ソリューション	634	650	+15
■メディア・インキュベーション	△218	260	+478
■ベンチャー・インキュベーション	688	1,500	+811

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

2011年6月期 事業セグメント別レビュー

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

インターネット黎明期より、独自の Enabling Platformを活用し、独創的なインターネットサービスを創造



広告 / プロモーション

Promotion/Solution

DG&Ibex

national client
255 companies

Social Marketing

CGM Marketing

national client
425 companies

決済インフラ

e-commerce/Social Commerce

e-context
Hybrid Solution Partner

Number of transactions 13 million
Total amount of transactions 100 billion yen

Enabling Platform

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

「次の10年」に向けた、新規メディアの創出と世界展開

今回の資金調達を受け、新たにSocial Media Incubatorとしてのビジネス創生を加速

発掘

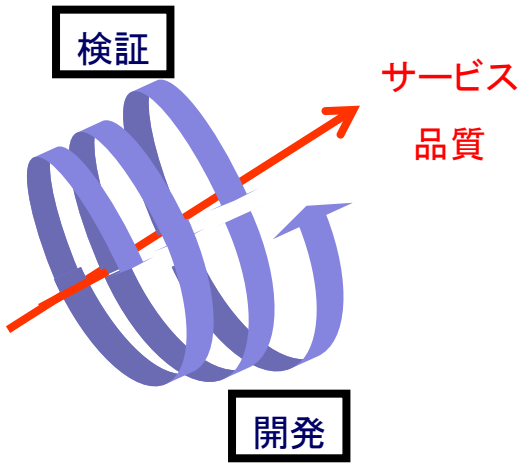
☑ 有望な投資案件をこれまで以上に迅速かつ広範に獲得



Social Media Incubator

育成／構築

☑ 変化の激しいインターネットビジネスの動向に機敏に対応できる体制を整備



“アジャイル開発”
開発と検証を短いサイクルで繰り返しながら短期間にサービス品質の向上を図る開発手法。TwitterやGoogleを始めとした最先端のインターネット企業では、主流になりつつある。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

グループ事業セグメント

context company

I ベンチャー・インキュベーションセグメント

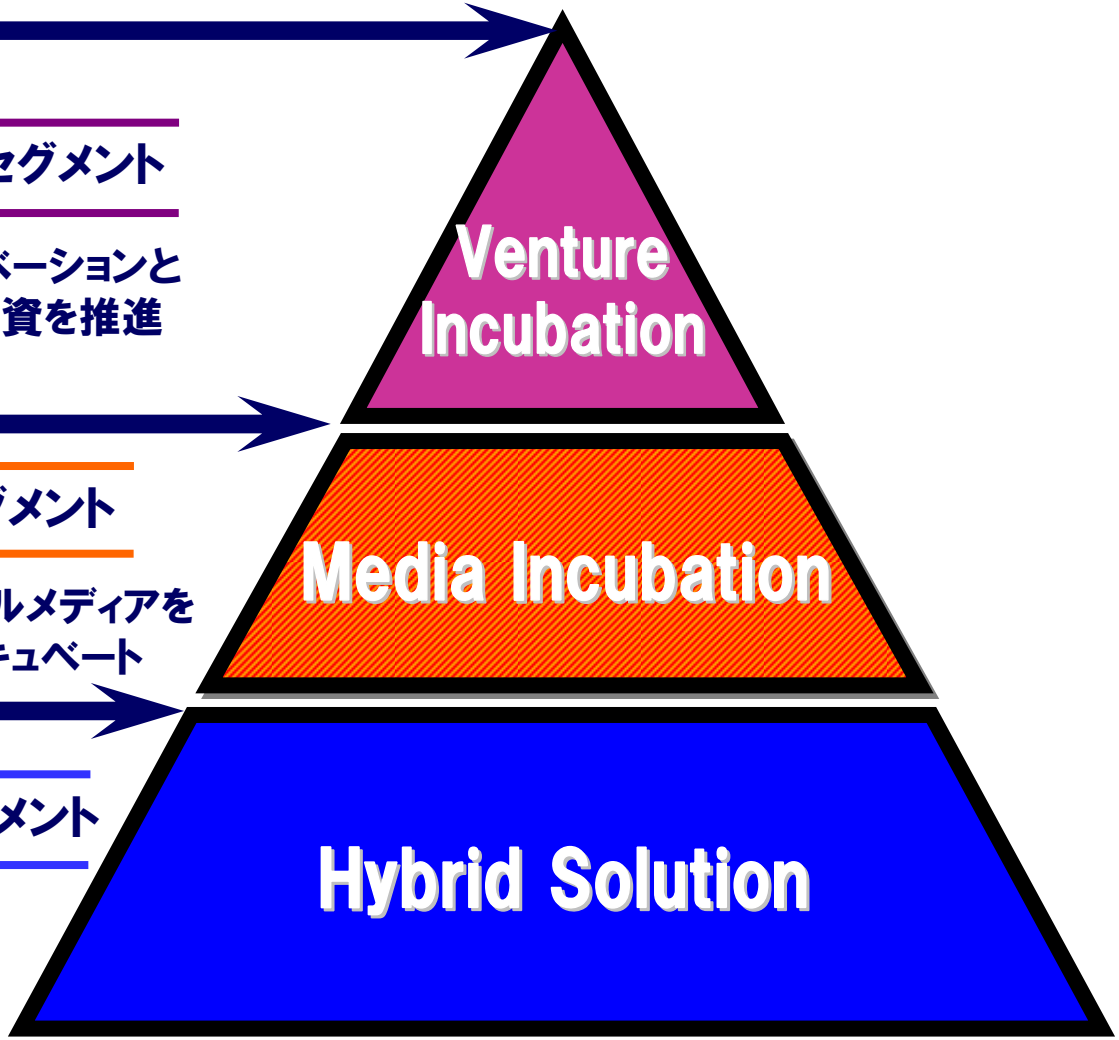
- シリコンバレー型のハンズオンインキュベーションと日本発の起業支援プログラムや国内投資を推進

II メディア・インキュベーションセグメント

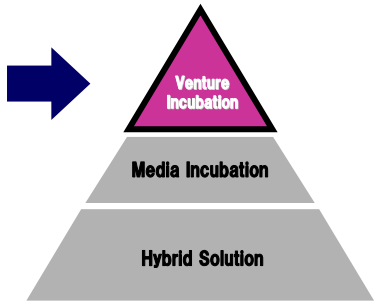
- Twitter / Twinaviをはじめソーシャルメディアを中心に　メディア/アプリビジネスをインキュベート

III ハイブリッド・ソリューションセグメント

- 「Hybrid Solution」として、決済とソリューションを融合



Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



Ⅰ ベンチャー・インキュベーション事業セグメント

➢ 株式会社DGインキュベーション

ベンチャー企業等への投資・育成等インキュベーション事業

DG INCUBATION

➢ オープンネットワークラボ

インターネットビジネスの起業を志すエンジニアの育成プログラム

Open Network Lab
～ 日本のスタートアップを世界へ ～

context company

Ⅰ ベンチャー・インキュベーション事業セグメント

	売上高	営業利益
2010年6月期 実績	7 百万円	△143 百万円
2011年6月期 実績	1,180 百万円	688 百万円
2012年6月期 予想	2,200 百万円	1,500 百万円

シリコンバレー中心の海外投資展開に加えて、日本発の優良ベンチャー企業育成支援

【DGインキュベーション】

◆シリコンバレーを中心とした著名投資家との連携を強化し、Twitterに続く、新たなソーシャルメディアに対する投資と、その日本市場にむけたローカライズ支援を継続的に実施

◆2011年5月、エンジェルファンド SV Angel III に対する投資の実施
海外有望ベンチャーの早期発掘と、直接投資のための情報収集を目指す

SV Angel

【オープンネットワークラボ】

◆株式会社giftee giftee、株式会社スピニングワークス 等国内ベンチャーに対する投資の実施

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ベンチャー・インキュベーション事業セグメントの戦略

context company

シリコンバレー中心の海外投資展開に加えて、日本発の優良ベンチャー企業育成支援

Real Time WEB時代の新たなベンチャー・インキュベーション
インポート＆エクスポート両ウィングでのビジネスモデルの確立

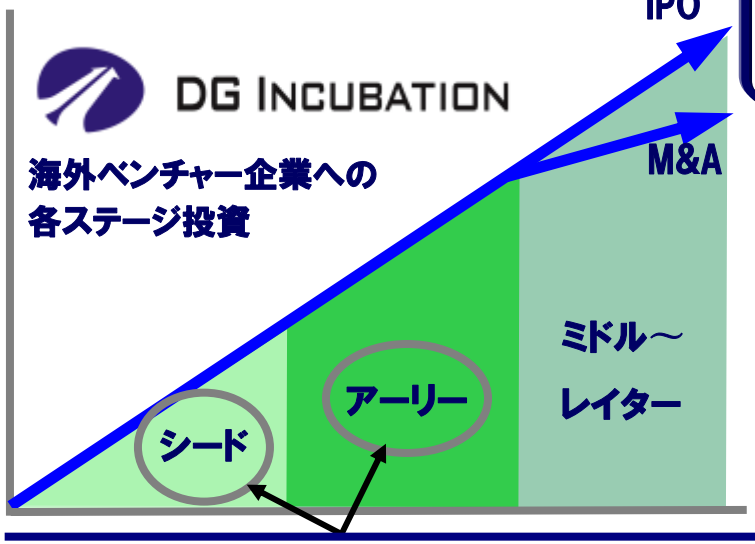
米国他海外シードステージベンチャー企業への投資
－ シリコンバレーエンジェル投資家のドリームチームの完成 －

- ◆ 海外有望ベンチャー企業の早期発掘
- ◆ DGとしての並行投資と日本ローカライズ支援

インポートモデル

DG INCUBATION

海外ベンチャー企業への
各ステージ投資



日本発グローバル市場展開モデル
－ Seed Accelerator プログラム －

- ◆ 海外進出を視野に入れた国内ベンチャー企業家に対し、海外有名企業家メンターによる立ち上げ支援
- ◆ 立ち上げ後IT,MT,FTを使った、早期事業拡大支援

エクスポートモデル

Open Network Lab
http://onlab.jp/

シードステージ有望
ベンチャー企業育成支援

米国拠点の設立とビジネス深耕

- 有力ベンチャーキャピタリストとの連携
- 日本発の事業モデルを米国へ拡大展開
- MIT Media Labとの中期プロジェクト構築

米エンジェル投資家との共同投資→DGとしての並行投資

国内起業支援と海外展開支援

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

最近の投資のハイライト

context company

ファンドへの投資

【エンジェルファンド出資のDGとしての目的・意義】

◆投資を伴う有機的事業育成モデル形成のため、エンジェル投資家/ベンチャーキャピタリスト ネットワークの内側に入る ⇒ 最先端のインターネットビジネスの情報取得

◆エンジェルファンドの投資先に対して、並行投資の権利を持つ ⇒ DG独自判断での個別投資

SV Angel

・シリコンバレー著名投資家のRon Conway氏が設立、アドバイザーを務める

対象：アーリーステージのスタートアップ企業

DGとRon Conway 氏との主な共同投資先

twitter / ContextLogic / RUPTURE / Path / fotonauts

【エンジェルファンドA】

・シリコンバレーの著名投資家により設立

対象：アーリーステージのスタートアップ企業
（米国外の投資も積極的に実施）

※現在ファンド準備中

個別投資

boticca.com
i'd rather wear a unique story

2009年3月にKiyan ForoughiとAvid Larizadehが立ち上げた、高品質なジュエリー＆バッグのマーケットプレイス

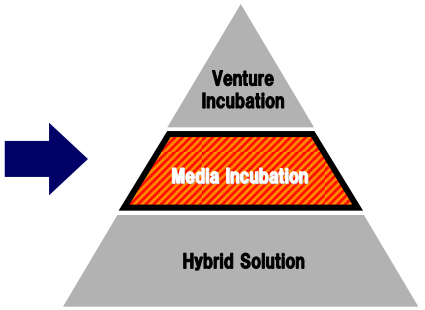


beautylish

2010年10月にスタートした女性のヘアメイクアップやネイルなど「ビューティー」の分野を専門としたサービス



Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



II メディア・インキュベーション　＜To C Solutionの事業群＞

➢ メディアインキュベーション本部

海外メディアのローカライズ／自社メディア構築の推進

➢ ツイッターカンパニー

Twitterの日本での運営支援および事業化

➢ 株式会社CGMマーケティング

CGM Marketing

Twitter、CGMを活用した広告商品開発、twinavi運営、Twitter利用企業支援

➢ 株式会社ウィール

Wheel

スマートフォンに特化したソーシャルサービスベースのコンテンツ配信事業

context company

II メディア・インキュベーション　＜To C Solutionの事業群＞

	売上高	営業利益
2010年6月期　実績	812 百万円	△107 百万円
2011年6月期　実績	634 百万円	△218 百万円
2012年6月期　予想	2,000 百万円	260 百万円

Social Media Incubatorとして、Twitterに続く新たなソーシャルメディア事業の育成と自社メディア開発に注力

◆グループ内に点在していたリソースを集約し、「メディア育成戦略部門」としてセグメントの成長を加速

◆グループCTOとして米国有力企業の技術統括 イアン・ マクファーランド氏が合流。グローバルなアジャイル開発体制を整備するとともに、投資事業との連携をはかる

◆LinkedInの日本展開サポートを開始するとともに、LinkedInと連動した日本初のメディア「昼会 HIRUKAI」を自社開発・サービス開始

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

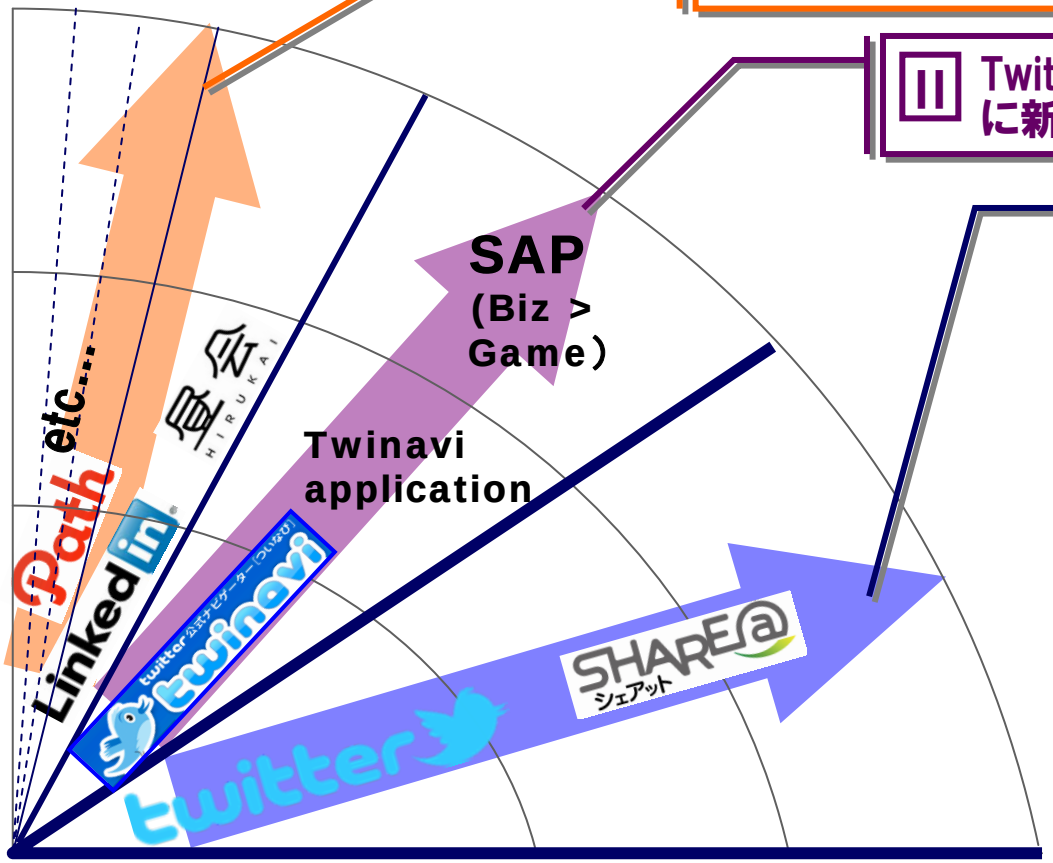
メディアインキュベーションセグメントの事業戦略骨子と拡がり

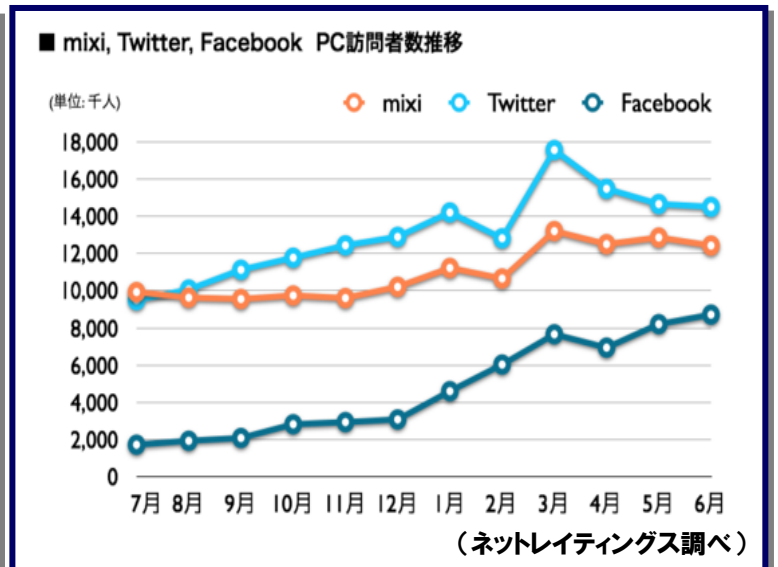
context company

Twitterの成功に続く、ソーシャルメディアやソーシャルプラットフォームの育成と、同時にその上で連動する3rd Party型のビジネス開発も注力

III 日本での新たなソーシャルメディアの育成を深耕中

II Twitterのガイドサイトとして成長した”twinavi”上に新規ビジネスを準備中





I No.1としてのポジションを継続中

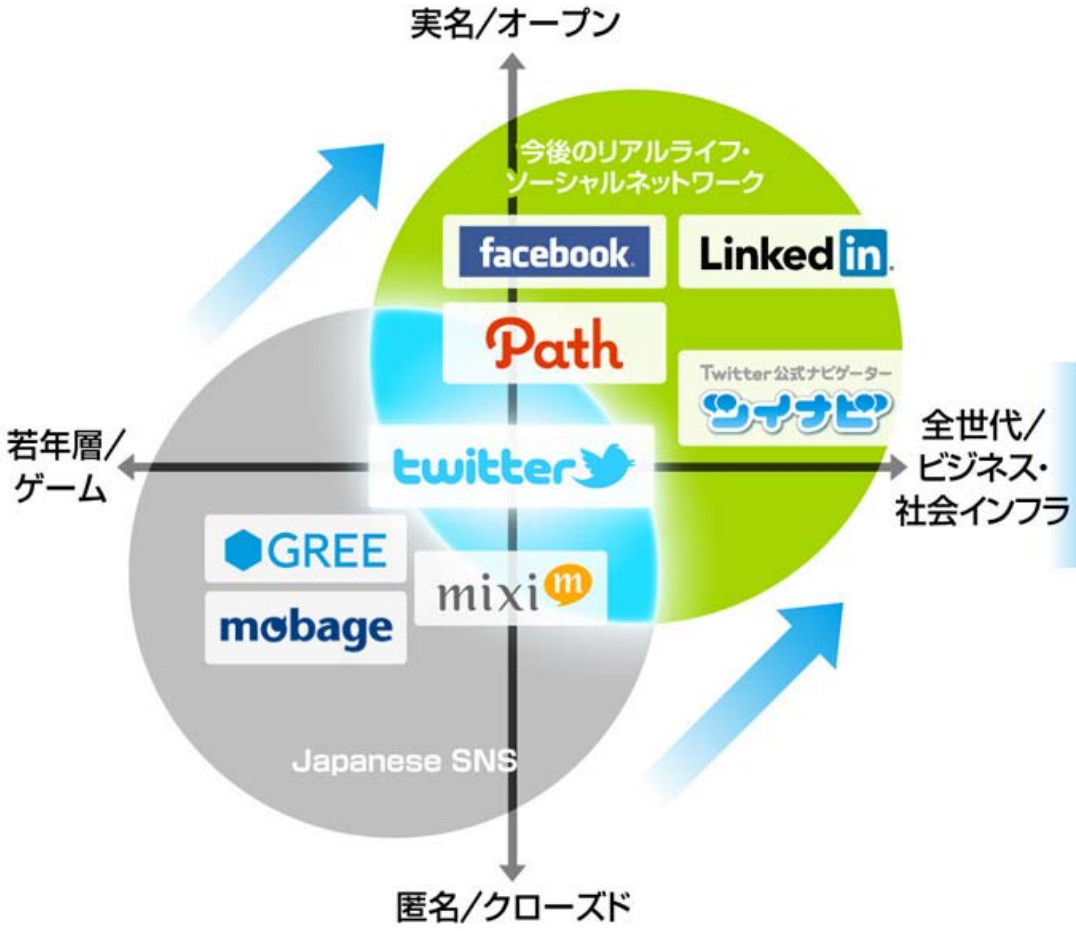
Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

DGが考える次世代ソーシャルメディアのビジネスコンテクスト

context company

ソーシャルメディアはゲームからリアルタイムWEB、更にビジネス活用のステージへ

匿名性をベースとした日本型SNSから、『リアルライフ・ソーシャルネットワーク』のステージへ



〈当社が考える新たな潮流〉

リアルライフ・ソーシャル

これまでゲーム等限定的な使い方から、
社会インフラ/ビジネス化が進展することで
よりリアル世界と融合

スマートテクノロジー

ユーザーリテラシーに依存しない
技術のオープン化がもたらす
スーパーディバイス時代の到来

ユーザー主導

その結果、キャリアやポータルがコントロール
していた領域(コンテンツや決済)も
ユーザーが自由に選択/使い分けする時代へ

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

メディアインキュベーション本部

■ 2011年 6月期 ハイライト

◆ Social Media Incubatorとしての事業加速化にむけ本部設立

- メディア構築機能を集約するために、プロダクトマネージメント／開発／インフラ／セキュリティ等のトータル機能を有する本部を設立

◆ ビジネスSNSのLinkedIn社と提携

- 2011年中に日本語版の立ち上げを予定しているLinkedIn社に対し、日本における普及に向け、マーケティング活動、広報活動、市場調査、プロダクトマーケティング支援を実施。

◆ LinkedInと連動した日本初のメディア「昼会 HIRUKAI」を自社開発・サービス開始

- 実名・ビジネスドメインのユーザーが利用するシーンを想定し、第一弾としてLinkedIn APIとも連動する自社開発メディアをリリース

中長期戦略

インポート型メディア開発に加え、エクスポートモデルの推進

◆ベンチャーインキュベーションセグメントと連動し、Twitterに続くインポート型メディアのマーケティング・運営支援を実施。
◆自社開発型メディアやOnlabビジネスを今後順次導入し、また海外展開も計画中。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

context company

Twitter company（デジタルガレージ　ツイッターカンパニー）

■ 2011年 6月期 ハイライト

◆社会インフラとしての認知度が定着

- 3月11日の東日本大震災時にリアルタイムに安否を確認するツールとして、Twitterが活躍
- 生活情報インフラメディアとして経産省主導のもと、様々な取り組みを企画・実施中

◆ユーザー利用の促進

- 公式PCユーザーは910万UU（2010年6月）から1452万UU（2011年6月）と1年間で約1.6倍と成長を持続　（ネットレイティングス調べ）
- なでしこジャパンがワールドカップで優勝した際、世界過去最高のTweet数（7,916Tweet／秒）を記録

◆新機能の提供

- 日本語のハッシュタグサービス／写真投稿機能の提供

Twitterの社会インフラ化促進に向けた継続的支援

中長期戦略

◆ 官公庁や企業の利用促進に向けた成功事例の共有や啓蒙活動を実施。
◆ 新旧UIの完全移行に伴い、クロスセル活動に向けた展開を準備。

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

CGMマーケティングのハイライトと今後の見通し

context company

CGM Marketing　株式会社CGMマーケティング

■ 2011年 6月期 ハイライト

◆Twitter 公式PC/モバイル広告事業

- UI切り替えに伴う広告在庫の調整が済み、PC等の月次最高売上を達成し、順調に進捗

◆Twinavi

- 東日本大震災時のTwitterの社会インフラ化に伴い、ユーザーへの公官庁アカウント告知のため、政府と連動し、『Jガバメントon Twinavi』を提供。
（44都道府県　約300アカウント開設）



◆Tweet manager

- 東京電力におけるTweet監視・分析等の運用支援開始や中央省庁（資源エネルギー庁、内閣府、首相官邸）への導入を推進

継続的にTwitterの収益化に取り組みつつ、次なるメディアへの展開

中長期戦略

- ◆Twitter関連メディアの広告商材／収益機会の多様化
- ◆ユーザーのマルチソーシャル利用に合わせた、次世代型広告商材の開発

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ウィールのハイライトと今後の見通し

context company

Wheel　株式会社ウィール

■ 2011年 6月期 ハイライト

◆ソーシャルメディアと連動したサービスの開始

- Twitterに「デコムービー」を投稿できるスマートフォン向けサービス「SHAREa」を開始
- アンドロイドから開始し、順次PC含むWeb対応、コンテンツ拡充



楽曲購入



投稿



お誕生日、おめでとう！お祝いの
ムービーを作ってみたよ！
http://share.tt/gjlsjd

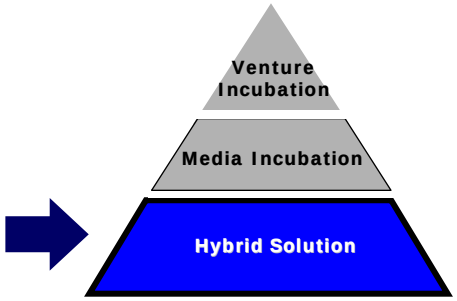


ソーシャルメディアへの強みを生かし、有料コンテンツマーケットを創生

中長期戦略

◆スマートフォン時代のユーザー動向に合わせて、フィーチャーフォン有料サービスのスマートフォンシフトを狙う

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



Ⅲ ハイブリッド・ソリューション ＜To B Solutionの事業群＞

➤ イーコンテクスト カンパニー

ECビジネス等における決済プラットフォーム事業等

e-context
Hybrid Solution Partner

➤ ディージー・アンド・アイベックス カンパニー

マーケティングプロモーション支援、メディア構築およびWebソリューション提供

DG&Ibex

context company

Ⅲ ハイブリッド・ソリューション　＜To B Solutionの事業群＞

	売上高	営業利益
2010年6月期　実績	7,527 百万円	150 百万円
2011年6月期　実績	9,252 百万円	634 百万円
2012年6月期　予想	9,600 百万円	650 百万円

ソーシャルメディアが進展する中、「Enabling Platformer」としての事業領域が順調に拡大

【イーコンテクスト カンパニー】

◆価格.com 安心支払い をはじめとする収納代行事業に新たなファンクションを付加するビジネスモデルの構築により、収益の拡大が実現し、過去最高の決済件数を記録

【ディージー・アンド・アイベックス カンパニー 】

◆ソーシャルメディアに対する強みとノウハウの深さにより他社との差別化を図ることで、デジタルソリューションの売上拡大が進展し、顧客単価の向上を実現

結果、ハイブリッドソリューション全体での売上高1,725百万円の増収、営業利益で483百万円の増益を実現

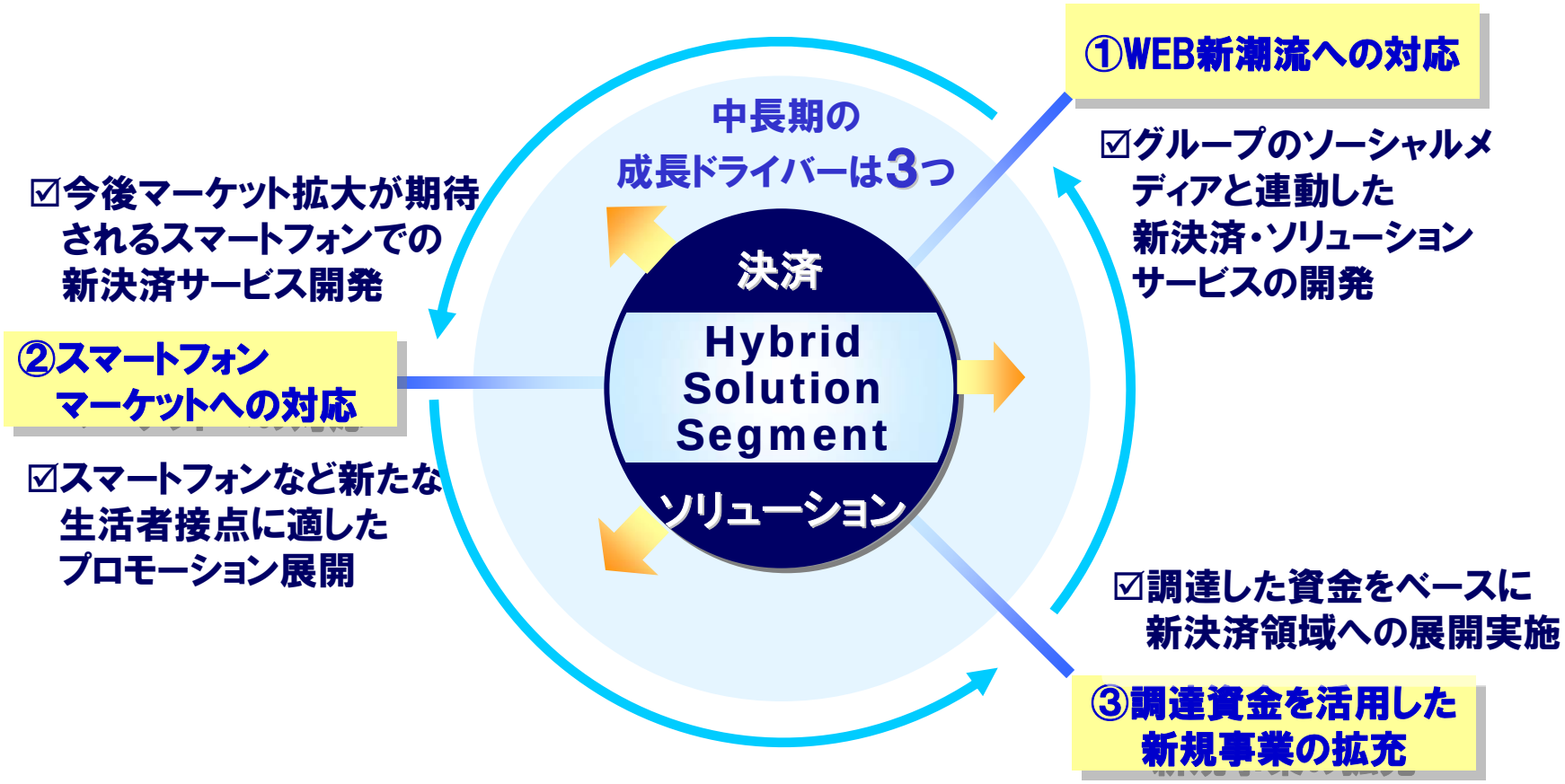
Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ハイブリッド・ソリューションセグメントの事業戦略

context company

ハイブリッドソリューション領域（広告/決済）を3つの成長ドライバーで更に加速

①ソーシャルメディアという新しいWEBの潮流に更に対応
②スマートフォンが創造する新しいマーケットにいち早く対応
③資金調達の目的でもある新規事業の拡充



Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

イーコンテクストカンパニーのハイライトと今後の見通し（1）

e-context Hybrid Solution Partner

context company

＜2011年 6月期の実績＞

提携サイト数	取扱件数	取扱高
41,617サイト	1,528万件	1,163億円
(前年同期比) 120％	(前年同期比) 114％	(前年同期比) 114％

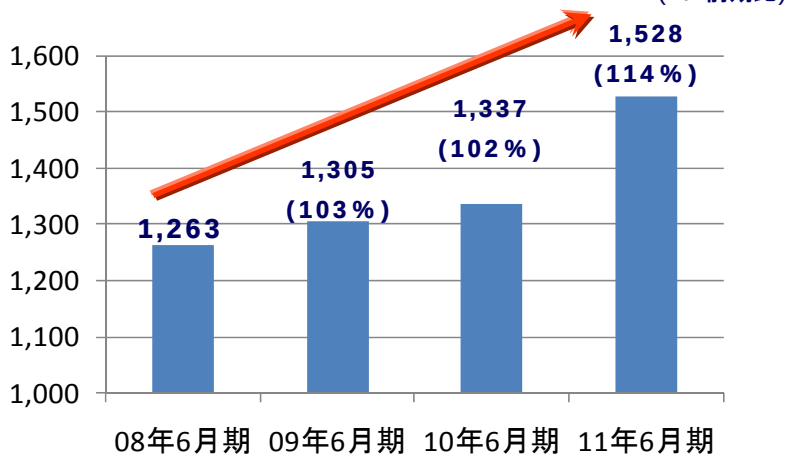
取扱件数、取扱高ともに過去最高を記録

【成長要因】

決済事業者としての領域の拡がり・深さの拡張が進み、取り扱い件数の増大に寄与

- 従来型決済に加え、クレジットカード決済に注力することで対前期比14％増の決済件数を達成
- 従来の収納代行に、エスクロー型決済を加えた価格.com 安心支払い が2010年11月より開始、順調に利用者数拡大

【取扱件数推移】（単位：万件）



中長期戦略

決済機能拡充による新たなマーケット/クライアント開拓

◆スマートフォン時代の新たな決済マーケットに対する取り組み加速
◆収納代行に加え、新たなサービスを拡充することでの、クライアント獲得

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

イーコンテクストカンパニーのハイライトと今後の見通し（２）

context company

価格.com 安心支払い

◆システム接続や与信調査／震災の影響等でやや立ち上がりは遅れたものの、**垂直立ち上げ**を実現



◆導入店舗の**満足度も高い**ため、今後更なる拡大を目指す

- 店舗利用者の女性割合が高くなった
- カード決済を導入でき、それが購入の決め手になっていた（お客様アンケートで判明）

新決済関連サービス等

CASHPOST

◆ 関東財務局にて**資金移動業者**としての**登録完了**

⇒従来銀行等に限定されている為替取引を伴うサービスの提供が可能に

⇒BtoC向けの送金サービスを始め、個人間送金、企業間送金、エスクローと組み合わせた新しい決済サービス等の提供を予定

リスクサーチ

◆ ラック社と**Eコマース事業者**向けに**セキュリティ診断サービス「リスクサーチ」**を提供

BOOK☆WALKER

◆ スマートフォン向け決済プラットフォームを**角川の「BOOK☆WALKER」**へ提供

⇒ユーザーのデバイス環境を選ばない、ユニバーサルな決済機能を提供

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved

ディージー・アンド・アイベックス　カンパニーのハイライトと今後の見通し

context company

DG&Ibex （デジタルガレージ　ディージー・アンド・アイベックス　カンパニー）

＜2011年 6月期の実績＞

売上総額	クライアント単価	クライアント数
63億円	22.5百万円	280社
(前年同期比) 149％	(前年同期比) 125％	(前年同期比) 102％

デジタル領域(Web/mobile)が順調に伸長し、クライアント単価の底上げを実現

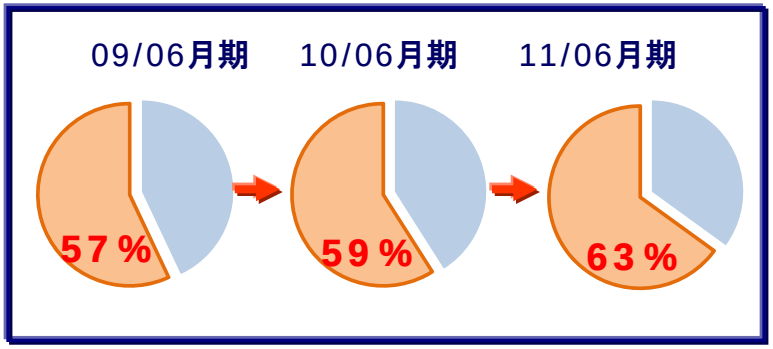
【成長要因】

ソーシャルメディアに対するDGの知見をベースに、業界に特化したデジタル・リアル統合プロモーションを深耕　（コスメ / クレジットカード等）

➲ウェブマーケティング領域のソリューション積み上げが顧客単価の向上に寄与　（前年同期比156％）

➲プロモーション領域も業界水準の成長率を上回り堅調に推移（前年同期比108％）

【粗利におけるデジタル vs その他領域の比率】

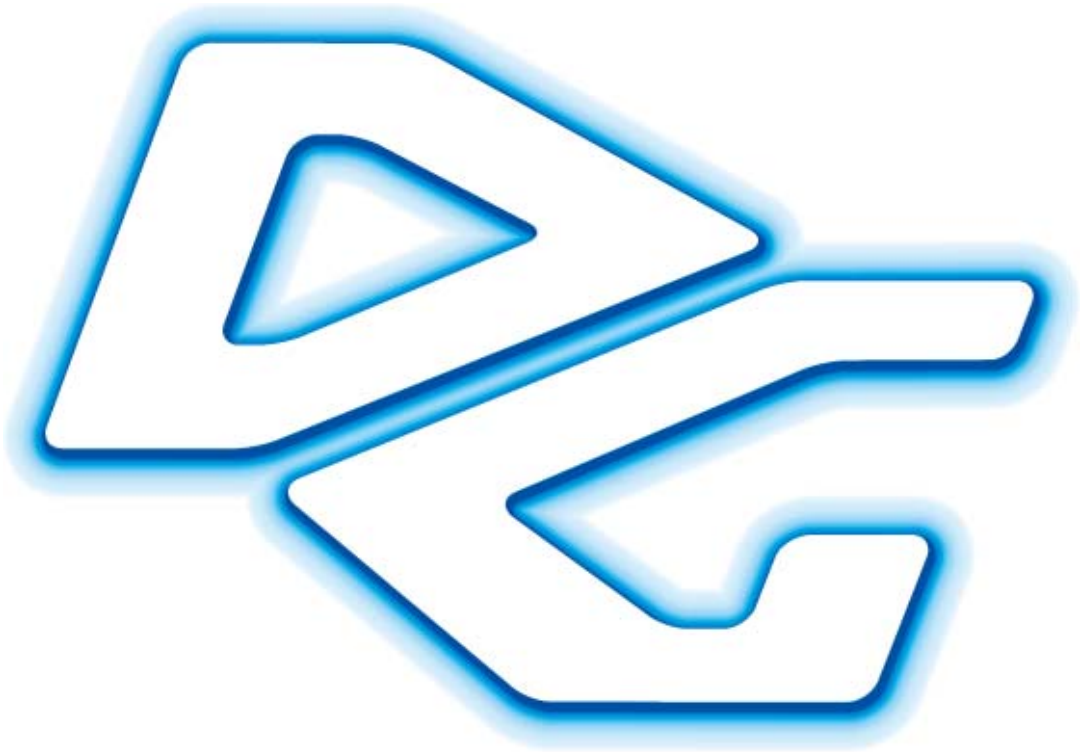


消費者の接触メディアの変化に対応したソリューションの継続的拡充

中長期戦略

◆DGの新メディアへの取り組みと連動した、最先端ソリューションの継続的開発
◆業界に特化したソリューションパッケージの拡張による、更なる顧客内シェア拡大

Copyright © 2011 Digital Garage, Inc. All Rights Reserved



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、
様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。